



くぬぎ通信



2019年12月発行 第345号
市原第7団ボーイ隊長 土橋一弘
2019年12月度テーマ ; 朝日は昇る

11月度 隊活動

17日はイトーヨーカ堂の店頭でユニセフ（ハンド・イン・ハンド）募金を行い、多くの寄付金をいただきました。スカウトたちは大きな声で呼びかけを行っていました。そして、集められた募金*は災害・紛争による貧困や病気などで苦しむ、多くの幼い子供たちの命を守るためや教育などに使われます。

*重度栄養不良の子供のための栄養治療食(RUTF)約900食分に相当。

30日からの1泊キャンプでは、スカウト発案の木工作（ミニトーテムポール）と野外料理コンテストを行いました。

ミニトーテムポールの材料は現地調達、のこぎりで切るだけでも大変。作品完成まではもう少しですので1月の隊集会で設置します。また、料理コンテスト（パエリア、キムチ鍋）の審査結果はほぼ互角。ご馳走になった隊長的には両班ともなかなか美味しかったですよ。

ユニセフ募金



木工作



料理コンテスト(夕食会)



スカウト諸君へ

12月以降の隊活動予定

- テーマ ; 朝日は昇る
- 活動目標 ; 健康の増進につとめ、身体を強健にする。
自ら考え判断する力を養う。
- プログラム ; 長距離ハイキング
- ソング ; パトローリングP49 あるけP46
- 当番班 ; ハヤブサ班

日時	場所	集会	内容
10(火)	姉崎公民館	班長会議、班長訓練	長距離ハイキング検討
未定	未定	班集会	
22(日)	野営場	団行事	クリスマス会
22(日)	野営場	班長会議、班長訓練	ハイキング技能
29(日)	上総亀山~野営場	隊集会	長距離ハイキング
1月25日~26日 予定	野営場	隊集会	キャンプ(耐寒)
2月22日~24日 予定	検討中	隊集会	スキー

「スカウト運動」 E.E.REYNOLDS より(一部加筆修正要約)

~スカウティング・フォア・ボーイズ~ 1908年 ベーデン=パウエル(B-P) 著

ボーイスカウト運動が始まったきっかけになった、1908年出版の「スカウティング・フォア・ボーイズ」について紹介する。

当時から現代まで売られるベストセラーの本の一つであり、なぜ魅力的で説得力のあるものであったのだろうか。これは固いテキストブック風の扱いではなく、一見して、著者の逸話の寄せ集めやスケッチによる説明された知識の断片に思われるが、このつぎはぎ細工的なところが、少年たちにぴったりだったのである。

本書には冒険的でロマンティックな雰囲気最初からかもし出されており、扱われた問題も、追跡、忍び寄り、開拓作業、キャンピング、野外生活、進路発見等と心たかぶるものであった。

これまでの100年以上に渡り、文明が表面的に変わったとしても、なんら変わることなく少年の琴線に触れて来たのである。

当時の少年たちが「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読み、直ちに班をつくり始めたのは何ら驚くことではなく、非常に多くの隊が少年たちによって発足したのである。たいていの場合、少年たちが自発的に始めたのだという事実は、スカウティングが普通の団体とは違ったものであることを印象づけられる。

